

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	開田小学校 水車小屋周辺整備事業
事業主体 (連絡先)	木曾町 開田支所 開田教育事務所 (0264-42-3331)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,786,900円(うち支援金:3,171,000円)

事業内容

開田小学校では開田文化継承授業として児童が「開田科」の授業に取り組んでいる。開田の特色を生かした稲作授業では「馬耕」をはじめ、昔ながらの方法で稲作授業を行っている。一連の授業に、水車を活用して米の精米で全ての作業が完結する。しかし水車を回すための水路の漏水が著しいため水量の多い時期でしか利用することが出来ないため、一連の改修工事を行なった。

- ・水路漏水修繕として 50m
- ・周辺湿地解消として造成工事 120 m³
- ・安全対策として水路周辺へ柵の設置 40m
- ・稲乾燥用「はぜ」の設置 8m
- ・芝植栽を学校関係者及び地域住民により実施 60 m²



【地域住民による芝貼り作業】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・水路を改修した事により収穫したそばや米の製粉精米作業を時期に関係なく行うことができるようになった。また、年6回程度地域の住民を講師とし、郷土への理解や知識を深め児童と一緒に作業しながら、水車小屋周辺において交流の場としても活用できるようになった。

・芝生の植栽や周辺景観整備にも努め、芝生の管理や周辺の除草管理手入れも学校関係者地域共同作業として環境整備により、住民の景観的な地域意識を高めることができる。これにより、写真撮影や絵画スポットとしての活用も期待される。

【目標・ねらい】

- ①水車小屋を活用するための整備
- ②周辺環境の整備
- ③小学校による伝統農耕の学習
- ④地域共同作業による地域活性

※自己評価【B】

【理由】

当初の目的の水車小屋周辺整備は、計画どおり完了した。今後、老朽化した水車の改修や利用促進方法についての検討が必要。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

開田地域の昔ながらの風景・農業活用されている水車小屋の維持管理を地域全体で取り組みながら、開田の特産物であるそばの生産や米作りに利用することにより、開田の伝統・歴史を残していくことに取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある